

第2回スポーツ団体ワークショップの報告

【日時】2024年12月18日（水）18:00～20:00

【場所】風連地域交流センター

【参加人数】29人

【概要】

1回目のワークショップを受け、以下の5つのテーマに関心が高いことがわかり、分類した。2回目は改めて「将来像」「できていないこと・やったほうが良いこと」「できていること」について対話を重ねた。参加者は自分に興味のあるテーマを2つ選ぶ、随時グループを作って話し合いを進めた。

以下のテーマは、スポーツ団体の興味関心が高く、課題として認識しているテーマであり、今後の当団体の事業などにも反映させていく必要がある。

<スポーツ団体ワークショップで抽出された関心テーマ>

- ① 大会・合宿誘致
- ② スポーツ機会の創出（大人～高齢者）
- ③ 子どものスポーツ体験の充実（幼児～小学生／マルチスポーツ、きっかけ、日常で）
- ④ 中～高校生のスポーツ環境（ソフト、ハード、仕組み）
- ⑤ 指導者の育成、充実、増やすために

【結果】

上記5つのテーマに対して上がってきたものは13項目に分類した（詳細は別紙）。項目は仕組み・運営／ハード（競技）／ハード（宿泊）／移動手段／プログラム／サービス／金（補助金・報酬など）／人（量）／人（質）／連携／広報・PR／マインド／他。

・人や施設に関わるものの場合でも仕組みや施策、運営方法について言及されている場合には「仕組み・運営」に分類し、「ハード」については施設の量や改修、新設などの関わるものに限定している。

・「プログラム」は教室や大会、イベントなど「スポーツに関わるプログラム」を入れている。

・「サービス」は運営や仕組みなどではなく、なにかを団体からサービスとして提供するなどが盛り込まれているもので、他に分類しにくいものを入れている。

<ポイント>

- ① 「プログラム」への関心が多く、「できていない」「できている」両方上がってきている。
- ② 「中高生のスポーツ環境」については「仕組み」「ハード（競技）」に集中している
- ③ 「指導者育成・充実」については、金（資格取得の補助金、ボランティアになってしまっているなど）と質の担保（研修など）と連携（他団体・保護者との連携）に言及されている。
- ④ 「広報・PR」への関心が多く、特にスポーツ機会の創出についてはSNSを活用した情報発信についての言及が多かった。

以上